

みずほCustomer Desk Report 2016/09/16号(As of 2016/09/15)

【昨日の市況概要】

| | USD/JPY | EUR/USD | EUR/JPY | USD/CHF | 公示仲値 | 102.50 |
|--|--------------|---------|----------|------------|---------------|---------|
| TKY 9:00AM | 102.56 | 1.1246 | 115.33 | 0.9733 | GBP/USD | 1.3264 |
| SYD-NY High | 102.75 | 1.1285 | 115.43 | 0.9768 | AUD/USD | 0.7522 |
| SYD-NY Low | 101.92 | 1.1219 | 114.65 | 0.9695 | | 1.3180 |
| NY 5:00 PM | 102.08 | 1.1242 | 114.81 | 0.9720 | | 1.3239 |
| USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl) | 12.31/12.705 | | △25RR | 0.440 | Yen Call Over | |
| NY DOW | 18,212.48 | 177.71 | 債券市場 | | | |
| NASDAQ | 5,249.69 | 75.92 | 日本2年債 | -0.2600 | ▲0.1bp | |
| S&P | 2,147.26 | 21.49 | 日本10年債 | -0.0380 | ▲1.7bp | |
| 日経平均 | 16,405.01 | ▲209.23 | 米国2年債 | 0.7258 | ▲3.2bp | |
| TOPIX | 1,301.11 | ▲13.63 | 米国5年債 | 1.1787 | ▲2.8bp | |
| シカゴ日経先物 | 16,470 | 40.00 | 米国10年債 | 1.6907 | ▲0.7bp | |
| ロンドンFT | 6,730.30 | 56.99 | 独10年債 | 0.0320 | 1.1bp | |
| DAX | 10,431.20 | 52.80 | 英10年債 | 0.8910 | 1.7bp | |
| ハンセン指数 | 23,335.59 | 144.95 | 豪10年債 | 2.1070 | 1.4bp | |
| 上海総合 | - | - | 為替市況 | USD/CNH | 6.6500 | ▲0.0173 |
| USDJPY 3M Vol | 12.68 | ▲0.28% | ドルインデックス | ドルインデックス | 95.26 | ▲0.07 |
| USDJPY 6M Vol | 11.90 | ▲0.29% | 商品市況 | CRB指数 | 180.676 | 1.18 |
| EURJPY 3M Vol | 11.82 | ▲0.43% | | NY金 | 1,318.000 | ▲8.10 |
| EURJPY 6M Vol | 11.74 | ▲0.23% | | WTI | 43.910 | 0.33 |
| | | | | Dubai Spot | 42.73 | ▲0.73 |

【昨日の指標等】

| Date | Time | 日 | Event | 結果 | 予想 |
|-------|-------|---|------------------|---------------|--------------|
| 9月15日 | 08:50 | 日 | 対内・対外証券投資 | - | - |
| | 10:30 | 豪 | 雇用者数変化/失業率 | 8月 -3.9K/5.6% | 15.0K/5.7% |
| | 17:30 | 英 | 小売売上高(前月比/前年比) | 8月 -0.2%/6.2% | -0.4%/5.4% |
| | 18:00 | 欧 | CPI(前月比/前年比) | 8月 0.1%/0.2% | 0.1%/0.2% |
| | 18:00 | 欧 | コアCPI(前年比) | 8月 0.8% | 0.8% |
| | 20:00 | 英 | BOE政策金利/資産購入目標 | - | 0.250%/£435B |
| | 21:30 | 米 | 小売売上高・除く自動車(前月比) | 8月 -0.1% | 0.2% |
| | 21:30 | 米 | PPI(前月比/前年比) | 8月 0.0%/0.0% | 0.1%/0.1% |
| | 21:30 | 米 | 新規失業保険申請件数 | 260K | 265K |
| | 21:30 | 米 | ニューヨーク連銀製造業景気指数 | 9月 -1.99 | -1.00 |
| | 21:30 | 米 | フィラデルフィア連銀景況指数 | 9月 12.8 | 1.0 |
| | 22:15 | 米 | 鉱工業生産(前月比) | 8月 -0.4% | -0.2% |
| | 22:15 | 米 | 設備稼働率 | 8月 75.5% | 75.7% |

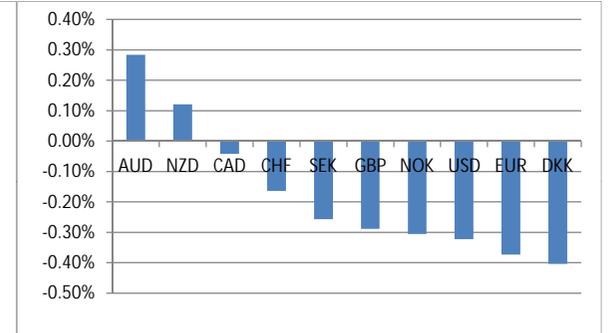
【本日の予定】

| Date | Time | 日 | Event | 予想 | 前回 |
|------|-------|---|-------------------|--------------|-----------|
| | 21:30 | 米 | CPI(前月比/前年比) | 8月 0.1%/1.0% | 0.0%/0.8% |
| | 21:30 | 米 | コアCPI(前月比/前年比) | 8月 0.2%/2.2% | 0.1%/2.2% |
| | 23:00 | 米 | ミシガン大消費者信頼感指数・速報値 | 9月 90.6 | 89.8 |

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



| | |
|--------|---|
| 東京 | 東京時間のドル円は102.56でオープン。前日海外時間に原油安、株安が進行した流れを引き継ぎ日経平均株価が軟調推移となると、ドル円も連れ安となり102.30近辺まで下落。弱い豪8月雇用統計の結果を受けて豪ドルが対円で下落する動きに連れてクロス円が全般的に売られ、ドル円は一時101.94まで下落した。しかし、日経平均株価が下げ止まったことや101円台では押し目買い意欲が見られたこともあり、直ぐに102円台を回復。その後は下落幅を縮小する展開となり、102.40近辺まで戻した後、102.21で海外へ渡った。また、豪ドルは弱い豪8月雇用統計の結果を受けて一旦下落するも、その後縮小幅を削る展開。対ドルで0.7482でオープンした後、豪8月雇用者数変化が▲3.9Kと市場予想(+15.0K)に反して減少となると、0.74台後半から一時0.7446まで下落。しかし、その後はじりじりと水準を戻す展開となり、0.7470で海外へ渡った。(東京 15:30) |
| ロンドン | ロンドン市場のドル円は、102.21でオープン。米10年債利回りが1.7%台で推移中、102.55まで上昇するも、米金利が1.7%割れを示現すると、ドル売り地合いに転じ、102.29でNYに渡った。ポンドは、1.3247でオープン。英8月小売売上高や英中銀金融政策決定会合等の重要イベントを控え、調整的なポンド売りが優勢となり、1.3200まで下落。その後発表された、英8月小売売上高は前年比+6.2%と市場予想(+5.4%)を上回り、英中銀金融政策決定会合では、予想通り全会一致で政策金利が0.25%で据え置かれた一方、議事要旨で第3四半期のGDP伸び率予想が前期比0.1%から0.3%へ上方修正されたことから、下げ幅を全て消し、一時、オープンレベルまで値を戻す。しかし、議事要旨を吟味すると、大半の委員が年内の追加利下げを支持すると予想し、8月に国債買入プログラムの拡大に反対していたフォース委員、マクファーティ委員ですら18月の決定を覆すのはコストが大きいと主張していたことから、英中銀の緩和基調が継続するとの見方が広がり、結局反落する展開となった。1.3186まで下落し、1.3200でNYに渡った。(ロンドン7時 00531 444 179 山本) |
| ニューヨーク | ドル円は102.29でNYオープン。朝方発表された米8月小売売上高、米8月PPI、米9月ニューヨーク連銀製造業景気指数が予想を下回ったことから、ドル売りが優勢となり、ドル円は一時101.92まで下落。しかし米8月小売売上高速報は前回値が上方修正されたことや、米9月フィラデルフィア連銀景況は予想を大幅に上回り、新規失業保険申請件数、失業保険継続受給者数は引き続き底堅かったことからドル買いとなり、一時102.75まで反発。多数の経済指標結果を受けた動きが一服すると、米10年債利回りの低下を受け、ドル円は下値を試す動きに102.00まで再び下落。しかし平均がプラス幅を拡大したこともあり、このレベルでは下げ渋ると、その後は102.20付近での推移から、102.08で海外市場に渡った。一方ユーロドルは1.1247でNYオープン。朝方の弱い米経済指標を受けてのドル売りの流れに一時1.1285まで上昇するが、その後ドルが買い戻されると1.1226まで反落。その後は狭いレンジ内での推移が続き、1.1242で海外市場に渡った。 |

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 坂本・森谷

【予想レンジ】

| 通貨ペア | USD/JPY | EUR/USD | EUR/JPY |
|-------|---------------|---------------|---------------|
| 想定レンジ | 101.70-102.70 | 1.1200-1.1300 | 114.50-115.50 |

【マーケットインプレッション】

昨日海外市場のドル円相場は、102円台を中心とする値動きとなった。発表された米8月小売売上高、同PPI等が市場予想を下回り一旦は101.94まで下落。しかし、上記小売売上高で前月分が上方修正されたことや、その後発表されたフィラデルフィア連銀景況指数が市場予想を上回ると102.75まで上昇した。本日も101円台後半から102円台を中心とする推移になると予想するもどちらかといえば軟調推移を警戒したい。本日は発表される米8月CPIや米9月ミシガン大学消費者マインド指数が注目材料となる。しかし、来週21日にBOJ-FOMCというイベントを控える中、よほど市場予想(CPIは前月比+0.1%、ミシガン大学消費者マインド指数は90.6)と開きのある結果とならなければ相場が動意づくとはいえ考え難い。一方で、1.7%台まで上昇していた米10年債利回りは1.6%台後半まで低下しており、相場の重石となりそうだ。